

2011年(平成23年)10月29日(土曜日)

内 辻 プロジェクト

ヒマワリ油が完成

きょうから児童が産業祭で販売

大館市釈迦内地区で取り組んでいる「ひまわりプロジェクト」で、住民が栽培したヒマワリの種から搾油した食用油が完成した。黄色い油は香ばしい風味が特徴。釈迦内小学校(五十嵐校長)の児童が29、30日の大館圏域産業祭で販売する。

地域活性化を目指し、小学校を中心に住民ぐるみで展開するプロジェクト。休耕田など約1畝の土地で花を栽培。9月に収穫した花から約900キロの種がとれた。第1弾として約33



児童手書きのラベルを貼って完成した商品 (釈迦内小)

0キロを小坂町で菜種油を製造しているエゴサカで搾油し、200ミリリットルで300本が完成。産業祭の2日間、6年生が100本を販売する。

試食した児童は「花の香りがして、香ばしくておいしい」と大満足を。畑を耕すところから販売まで、協力して手作りした商品。多くの人に買ってほしいと話している。

産業祭の産業教育展の会場で、両日とも午前10時から午後1時半からの各1時間販売。1本1200円。今後は市観光物産プラザ、秋田駅、県内8カ所の地域振興局などで販売を予定している。